

《企業紹介》

同社は1993年に設立され、ベトナムの情報通信インフラの構築に黎明期から深くかかわってきた実績を有する、ベトナムの大手情報サービス企業である。戦略的パートナーシップを確立している世界的な情報技術企業（マイクロソフト、SAP、オラクルなど）と協力して、世界最高水準の技術に裏打ちされたサービスを提供している点が強みとなっており、顧客はベトナム政府および政府系機関、大手製造業、ベトナムの大手金融機関などが中心となっている。なお、サムソン SDS（韓国のサムソングループにおける情報サービスの中核企業）が同社の筆頭株主（保有比率 19.9%）となっており、サムソングループと取引関係にあるベトナム企業向けの管理システム導入で協業している。

《2024年4-6月期業績》

2024年4-6月期の売上高は前年同期比 1.2%増の 1.7 兆 VND だった。4 四半期ぶりに前年同期比増収となったが増収率は小さい。DX 関連投資に一巡感が出ていること、ベトナム企業の情報化投資が伸び悩んでいることなど、低調な事業環境が続いているとみられる。

粗利益率は同 1.7%ポイント上昇の 18.9%となったことから粗利益は 11.4%増の 3,395 億 VND となった。しかし、販売費が同 21.0%増の 1,202 億 VND となったため、営業費用が同 14.8%増の 2,251 億 VND と粗利益の増加ペースを上回って増加したため、営業利益は同 9.3%増の 1,170 億 VND にとどまっている。営業外損益の悪化によって税前利益は同 2.6%増の 1,125 億 VND となった。法人税負担の増加と少数株主持分控除額の増加により、税引後利益は同 0.8%減の 832 億 VND へ減少している。

同社は 2025 年 3 月期の業績について、売上高を前期比 20.5%増の 8 兆 8,243 億 VND、税前利益を同 7.2%増の 4,810 億 VND と計画している。2024 年 1-3 月期実績の進捗率は売上高が 20%、税前利益が 23%となっている。税前利益は計画通りの進捗とみられるが、売上高については、データセンター関連事業の立ち上がりを含め、今後の急拡大を見込んでいるようだ。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2023年4-6月期		2023年7-9月期		2023年10-12月期		2024年1-3月期		2024年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	1,771.5	3.6	1,789.6	-2.5	2,116.7	-8.1	1,649.0	-9.9	1,793.4	1.2
粗利益	304.7	-5.4	308.4	-14.7	406.7	1.7	332.9	-10.7	339.5	11.4
粗利益率(%、%ポイント)	17.2	-1.6	17.2	-2.5	19.2	1.8	20.2	-0.2	18.9	1.7
営業費用	196.0	-9.3	219.2	-10.5	237.7	-11.1	258.3	-12.0	225.1	14.8
（うち金融収支、マイナスは受取超過）	-1.3	-	-9.2	-	0.7	-	-7.8	-	-3.2	-
（うち販売費）	99.4	-3.8	113.4	-13.3	121.8	-14.2	140.7	-13.5	120.2	21.0
（うち一般管理費）	107.0	-5.8	126.6	6.0	128.1	3.3	134.6	-3.7	117.0	9.3
営業利益	108.6	2.6	89.3	-23.4	168.9	27.7	74.5	-5.8	114.4	5.3
税前利益	109.6	3.3	88.4	-24.1	174.2	30.9	77.1	27.2	112.5	2.6
税引後利益(親会社株主帰属分)	83.9	5.0	68.0	-25.0	130.1	16.6	43.5	-2.0	83.2	-0.8

出所 各種資料をもとに当社作成

ニューズ証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20240806

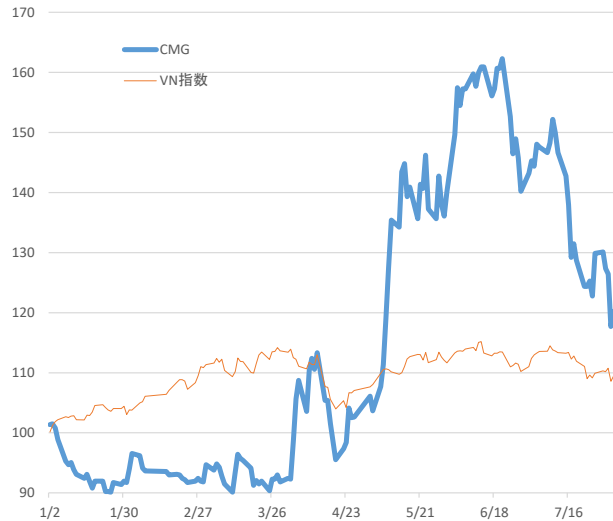
本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

《株価の推移》

同社の株価とVN指数を2023年12月の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は5月に入ってから急上昇し、一時VN指数を大幅にアウトパフォーマンスしていたが、6月下旬から下落基調に転じ、足元ではパフォーマンス差が急速に縮小している。8月5日時点の2023年末比上昇率はVN指数が5%となっているのに対して、同社は12%となっている。8月5日終値48,650VNDベースの時価総額は9.2兆VNDで、これは2024年3月期実績の税引後利益3,250億VNDの29倍となっている。

5月以降の同社の株価上昇は、同社が米国のNVIDIA社とAI（人工知能）分野で戦略的な事業提携を進める意向を表明したことが影響したとみられる。同社は既に2024年から2025年の間に2.5億米ドル（1ドル25,150VNDで計算すると約6.3兆VND）のNVIDIA GH 200 GPUを購入し、データセンタービジネスに使用する計画を公表していたが、NVIDIA社との提携によって、この大きな設備投資の収益化期待が一気に高まったようだ。最先端の情報技術サービスへの展開を明らかにしたことが材料視されているようだ。しかし、7月にはハイパースケールデータセンターを建設・運営する子会社の設立を発表したがこちらは株価のパフォーマンスには影響を与えていないようで、既に期待だけでは株価パフォーマンス改善に繋がらない状況になっている。今後は、新しい事業分野の業績への具体的な貢献が株価パフォーマンスに影響を与えることになるだろう。

図表2 株価推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20240806

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。